



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 常磐興産株式会社
コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 順一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部担当 (氏名) 藁谷 哲也
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0246-43-0569

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,070	22.7	90		45		68	
2023年3月期第1四半期	2,502	52.5	289		224		223	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 334百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 225百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.75	
2023年3月期第1四半期	25.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	51,371	9,350	18.1
2023年3月期	54,181	9,016	16.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,313百万円 2023年3月期 8,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期					
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当につきましては未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,900	14.2	970	32.9	880	0.4	760	2.8	86.53
通期	14,500	7.9	870	40.2	610	10.8	500	22.5	56.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	8,808,778 株	2023年3月期	8,808,778 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	25,776 株	2023年3月期	25,759 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	8,783,023 株	2023年3月期1Q	8,783,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資の持ち直し、さらに新型コロナウイルス感染症による規制の撤廃もあり、緩やかな回復が続きましたものの、海外情勢や円安の影響に伴う資源高をはじめとする物価上昇等により、引き続き先行き不透明な状況にて推移いたしました。

このような状況において観光事業につきましては、国内旅行需要の回復等によりスパリゾートハワイアンズの利用者数が日帰り・宿泊ともに増加いたしました。

燃料商事事業につきましては、石炭及び石油の販売数量が減少いたしました。製造関連事業及び運輸業につきましては、堅調に進捗いたしました。アグリ事業につきましては引き続き厳しい状況にて推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億70百万円（前年同期比5億68百万円、22.7%増）、営業損失は90百万円（前年同期は営業損失2億89百万円）、経常損失は45百万円（前年同期は経常損失2億24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億23百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[観光事業]

国内における新型コロナウイルス新規感染者数は低減を続け、5月8日から感染症法上の位置付けが5類に移行したなか、スパリゾートハワイアンズにつきましては、コロナ禍の衛生対策及び制限に関し、適時適切に緩和を図りつつ、お客様と従業員、関係者の安心と安全を最優先として施設運営をまいりました。

日帰り部門につきましては、コロナ禍以降休止していたポリネシアンショーのお客様体験コーナーをお子様及び曜日限定で約3年ぶりに再開し、夜のポリネシアンショーを4月28日からリニューアルいたしました。さらに、ゴールデンウィーク期間中には、プール上空での空中ブランコなどスリル溢れるパフォーマンスで構成された「ハッピードリームサーカスinハワイアンズ」を開催いたしました。

また、現役学生のほか、コロナ禍に卒業を迎え学生時代に旅行などの思い出を残すことが難しかった2020年から2022年卒業の方までを対象にした「ハワイアンズタイムスリップ学割キャンペーン」等、話題づくりを実施いたしました。

宿泊部門につきましては、一部老朽化した客室の修繕を施し、きめ細やかな受入れ及び安心安全な食のサービス提供を実施するとともに、コロナ禍に始めた「世界最大級の露天風呂『与市』」や「ポリネシアンショー」の貸切プラン等を継続し、6月まで延長となった「全国旅行支援」の利用促進、平日需要に応える「1室2名以上同額プラン」、「連泊割」、「館内利用クーポン券付プラン」など多種多様な旅行プランを提供し続けてまいりました。

利用人員につきましては日帰り部門は184千人（前年同期比48千人、35.8%増）、宿泊部門は72千人（前年同期比21千人、43.0%増）となりました。

スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースは、宿泊ゴルフパックの利用人数が増加し、利用人員は9千人（前年同期比0千人、2.6%増）となりました。

グランピング施設マウナビレッジにつきましては、昨年7月に拡張リニューアルを行い、利用人員は1千人（前年同期比1千人、180.9%増）となりました。

この結果、当部門の売上高は20億57百万円（前年同期比6億円、41.2%増）、営業利益は86百万円（前年同期は営業損失1億63百万円）となりました。

[燃料商事事業]

石炭部門につきましては、一般産業向けの販売数量が減少し減収となりました。石油部門につきましては、一般産業向けの販売数量が増加したものの、電力会社向けの販売数量が減少し減収となりました。

発電事業につきましては、好天の影響によりおおむね堅調に推移したものの、資材部門につきましては販売数量が減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は1億85百万円（前年同期比68百万円、26.9%減）、営業利益は97百万円（前年同期比74百万円、43.4%減）となりました。

[製造関連事業]

中国向け船舶用モーターの販売数量が減少したものの、建設機械向け鋳鉄製品の販売数量の増加並びに製品価格の上昇により、増収となりました。

この結果、当部門の売上高は3億48百万円（前年同期比2百万円、0.8%増）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

[運輸業]

港湾運送部門につきましては、発電所向け石炭輸送の増加並びにセメント輸送運賃の単価上昇により増収となりました。

石油小売部門につきましては、原油価格が大幅に下落したものの重油等の販売数量が増加し増収となりました。

この結果、当部門の売上高は4億40百万円（前年同期比24百万円、5.8%増）、営業利益は9百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

[アグリ事業]

アグリ事業につきましては大型量販店への年間契約販売もあり販売数量が増加し増収となりましたものの、前年度発生した被病等の影響もあり当初の販売計画には及ばず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は38百万円（前年同期比9百万円、32.0%増）、営業損失は37百万円（前年同期は営業損失38百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億9百万円減少し、513億71百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ31億43百万円減少し、420億21百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、流動負債その他の減少によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億33百万円増加し、93億50百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日発表の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,910	3,578
受取手形及び売掛金	7,222	5,313
棚卸資産	570	721
その他	141	189
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	12,839	9,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,591	11,381
土地	14,766	14,766
その他（純額）	2,549	2,462
有形固定資産合計	28,906	28,610
無形固定資産		
	99	87
投資その他の資産		
投資有価証券	5,805	6,360
投資不動産（純額）	6,029	6,028
退職給付に係る資産	195	197
繰延税金資産	43	29
その他	1,819	1,815
貸倒引当金	△1,558	△1,558
投資その他の資産合計	12,335	12,873
固定資産合計	41,341	41,571
資産合計	54,181	51,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,108	4,830
短期借入金	7,043	6,362
未払法人税等	135	15
賞与引当金	347	312
その他	3,696	2,651
流動負債合計	17,331	14,172
固定負債		
長期借入金	23,435	23,305
繰延税金負債	2,004	2,181
退職給付に係る負債	44	43
資産除去債務	535	537
その他	1,814	1,780
固定負債合計	27,834	27,849
負債合計	45,165	42,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	3,395	3,395
利益剰余金	2,340	2,272
自己株式	△39	△39
株主資本合計	7,838	7,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182	1,583
土地再評価差額金	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	△38	△37
その他の包括利益累計額合計	1,141	1,543
非支配株主持分	36	36
純資産合計	9,016	9,350
負債純資産合計	54,181	51,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,502	3,070
売上原価	2,147	2,451
売上総利益	354	619
販売費及び一般管理費	643	710
営業損失(△)	△289	△90
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	80	146
不動産賃貸料	29	28
助成金収入	89	—
その他	20	15
営業外収益合計	219	190
営業外費用		
支払利息	124	119
持分法による投資損失	13	6
不動産賃貸費用	13	13
その他	2	5
営業外費用合計	154	145
経常損失(△)	△224	△45
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△224	△45
法人税、住民税及び事業税	8	2
法人税等調整額	△9	20
法人税等合計	△1	22
四半期純損失(△)	△223	△67
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223	△68

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△223	△67
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	400
退職給付に係る調整額	△2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△1	402
四半期包括利益	△225	334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△225	334
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,456	254	345	416	29	2,502	—	2,502
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	2	—	8	0	11	△11	—
計	1,457	256	345	424	29	2,513	△11	2,502
セグメント利益又は 損失(△)	△163	171	△4	△7	△38	△41	△247	△289

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△247百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△247百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,057	185	348	440	38	3,070	—	3,070
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	2	—	9	1	13	△13	—
計	2,057	188	348	449	40	3,084	△13	3,070
セグメント利益又は 損失(△)	86	97	5	9	△37	161	△252	△90

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△252百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。